

## 1 リュウタン

### 2 生薬の性状の項を次のように改める.

3 生薬の性状 本品は不整円柱状の短い根茎の周囲に多くの細長  
4 い根を付けたものである。外面は黄褐色～灰黄褐色を呈する。  
5 根は長さ10～15 cm、径約0.3 cmで、外面に粗い縦じわが  
6 あり、その質は柔軟である。折面は平らで、黄褐色を呈する。  
7 根茎は長さ約2 cm、径約0.7 cmで、上端に芽又は短い茎の  
8 残基を付ける。  
9 本品は弱いにおいがあり、味は極めて苦く、残留性である。  
10 本品の根の横切片を鏡検(5.01)するとき、幼若なものに  
11 は表皮、外皮及び数細胞層の一次皮層を残すが、通例、その  
12 最外層は数個の娘細胞に分割した特異な細胞からなる内皮で、  
13 しばしばこれに内接して1～2細胞層の厚角組織がある。二  
14 次皮層はところどころに裂け目があり、師管が不規則に認め  
15 られる。木部には道管がやや放射状に配列し、木部内師管が  
16 ある。根茎の横切片を鏡検(5.01)するとき、大きい髓があ  
17 り、髓には師管を認めることがある。柔細胞中にはシュウ酸  
18 カルシウムの小針晶、板晶若しくは砂晶又は油滴を含み、で  
19 んぶん粒は、通例、認めない。  
20